

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ニコニコトライステーション		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 23日 ～ 2025年 1月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	45 (回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2024年 12月 23日 ～ 2025年 1月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	組織レベルで事業を行っており、指示系統が確立されている。特に安全面はPDCAサイクルを活用し組織基盤(社会基盤)が確率されている。	療育事業を営んで9年の実績が積み、利用者に対するスキルも向上している。保護者からの信頼も厚いと感じる。また、コロナ禍が過ぎた為、地域との繋がりが持てるよう、イベントの企画構成を定期的に行っており、インクルーシブの推進に向けて真剣に取り組んでいる。	働く人員の確保。職場環境についての配慮(勤務時間、配置調整、メンタル面のサポート、経済の保証等)を充実させ、安定した経営を目指すとともに、利用者が安心安全に利用出来る施設として、永続出来る企業を今後も目指していく。
2	創業当初より、ぶれない理念経営が続けている。放課後等デイサービス事業が、年々増加し質の向上が問われている。そういった現状を把握しながら地域の課題に積極的に取り組み、事業の強化、充実を図っている。	会社の経営理念に基づき、いじめや差別、虐待のない世界を目指し、そのためにはどうすれば良いのか?常に意識を持って、日々の業務に取り組んでいる。	行政の仕組みに頼らず、地域の資源を活用し、第三セクターの施設運営を考案中である。また、グレーゾーンである子供たちが利用に繋がらず、学校でのいじめや虐待が発生していたり、放課後等デイサービス利用が18歳までと決まっていることから、まだ未完全なまま就労に行き、途中で續いたりする卒業生も発生する現状があることから、第三セクターの必要性を非常に感じている。実現に向けて行きたい。
3	専門性の高いスタッフを揃え、より良いサービスが提供できる仕組みづくりに取り組んでいる。女性スタッフが8割を超える為、働き改革を押し進め、働きやすくより良い人間関係が構築出来るように福利厚生の充実を図っている。	社会問題に関する記事や情報を集め、地域の課題に対する改善策を仲間と共有し、放課後等デイの役割として地域に出来ることを考えている。ボランティア活動に参加する、地域の清掃活動に参加する等、地域社会をよくする為に行動している。	社会参加の希望者を募る等、仲間を増やしていき、地域全体で社会的弱者の支援に永続的に取り組む。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会社の経営理念を中々浸透出来ない。	時間、お金をかけ、働く側にとって、過ごしやすい環境づくりに徹することが出来るようになりたい。	業務の効率化を目指しているが、そこだけを見つめていくと、人間関係にいなひずみが出てくる。経営コンサルティングの専門職のアドバイスを取り入れながら、健全な会社経営を目指している。
2			
3			